



奪取(DASH)～心(しん)から燃え、身(しん)で戦え～

R4.5.21 令和4年度 体育大会

直前になりましたが、5月21日（土）、令和4年度の中原中学校体育大会を開催します。（学校近くにお住いの方々、放送の音や砂埃など、当日まで御迷惑をおかけすることになるかと思えます。この場をお借りして、御理解の程、よろしくお願いいたします。）

今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、種目を厳選した半日開催となります。また、参観者も各家庭2名以内と限定させていただいております。生徒たちはもとより、保護者や地域の皆様には、今年も窮屈な思いをさせてしまうことになり、申し訳なく感じております。

しかしながら、こうした中でも、生徒たちは、5月9日の結団式以降、短期集中で着実に準備を進めてきました。各団団長を始め3年生のリーダーシップのもと、決められたルールの中で、一生懸命に練習を重ね、日に日に完成度が高まってきました。

今年の大会スローガンは、「**奪取(DASH)～心(しん)から燃え、身(しん)で戦え～**」で、3年生の椛島凜さん、平野好春さんの原案に、体育委員の意見を合わせて決定されました。

このスローガンには、「心に熱い闘志を燃やし、団みんなで勝利に向かい、勝ちを自分たちのものにしてほしい、全力DASHで駆け抜け、全身で戦ってほしい」との思いが込められているそうです。

いよいよ明日は本番。結果はともかく生徒一人一人の「心」と「身」が一番輝く瞬間を見届けたいと思います。



【結団式（5/9）スローガン発表の瞬間】



【最新 練習風景（ちょっとネタバシです、3年生ごめんなさい）】



【青団スローガン】

「飛竜闘魂」(ひりゅうとうこん)



【黄団スローガン】

「竜驤虎視」(りゅうじょうこし)



【赤団スローガン】

「気炎万丈」(きえんばんじょう)

PTA自転車安全点検・安全教室

5月11日(水)、恒例のPTA自転車点検が行われました。あいにくの雨の中、地元の自転車店「大栄輪業」の大隈保之さん、昌裕さんにブレーキの利きやタイヤの空気圧など技術的な点検を依頼。全校生徒の自転車1台1台を丁寧にチェックしていただきました。

また、PTA役員及びサポーターの方も15名の参加があり、点検補助や結果のとりまとめを快く引き受けてくださりました。お陰様で、予定よりもスムーズにすべての点検が終了しました。

点検結果は、その後、速やかに生徒及び保護者にフィードバックし、事故防止と安全に対する意識の向上に役立てております。ご協力ありがとうございました。



【生徒の皆さんのために、心を込めて…】

当日の4時間目には、体育館で「安全教室」を行いました。鳥栖警察署交通課の池田巡査長をお招きし、全校生徒を対象に、自転車の安全運転をテーマとした「安全講話」をしていただきました。

その中で、特に強調された事柄は以下のとおりです。

- ・安全運転について「わかる」と「できる」は違う
- ・自転車は「車両」である
 - よって、事故の際、責任が問われることもある
 - 罰則・罰金もある
 - 高額な賠償となる場合もあるので、保険加入を
- ・標識のないところでも、一時停止が大切
 - 急な飛び出しが、自転車事故の原因で一番多い
- ・周りの人を不安にさせないためにも、安全運転を

折々の魚たち① ニッポンバラタナゴ

前任の石橋校長先生が、この「学校だより」でよく身近な鳥や地域及び学校の歴史等、多様な分野の話題を紹介してありました。足元にも及びませんが、それをアレンジして、今号から身近な魚、季節の魚についてご紹介したいと思います。

記念すべき第1回目は、「ニッポンバラタナゴ」です。ニッポンバラタナゴは、天然分布としては、関西・四国、それから私たちの住む九州北部のごく一部のみ

に生息するコイ科の珍しい小型淡水魚です。ちょうど今

の季節、繁殖期ということでオスはきらめく婚姻色(こんいんしょく)に体が染まります(写真)。この色がバラの花のように美しい事が名前の由来だと言われています。

この季節、飛び交い始めたホタルもいいけど、川の中ものぞいてみてください。運が良ければ、出会えます。



【今しか見られない、婚姻色のニッポンバラタナゴ】

※カラー写真ではない方、ごめんなさい。

また、メスは卵を生きた淡水二枚貝のエラの中に産みつける不思議な生態をしています。しかし、このニッポンバラタナゴの産卵に欠かせない二枚貝は、河川の護岸工事などの影響を受けやすく、激減しています。その余波を受けて、ニッポンバラタナゴも絶滅の危機に瀕(ひん)しています。河川の護岸工事は、水害から私たちの命を守るため、農業等の振興のために進められているものだと思います。しかし、そのことが掛け替えのないタナゴと貝の関係を壊す一因になってしまっているのかと思うと考えさせられます。

私にも掛け替えのない存在がいます。せめて自分の勝手な都合だけで関係性を壊さないよう、「居てくれて、ありがとう」という気持ちで接していきたいと思っています。

心の支えとして共に想いを巡らせながら過ごしていけたら最高ですね。